

「政党と市民に会うことは意味が違う！」

瀬川議員等の質問に対し、倉成市長が答弁

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049

奥州市議会6月定例会は、6月7日市長の「令和4年度奥州市施政方針演述」並びに教育長の「令和4年度教育行政方針演述」に対する質疑を行い、日本共産党議員団が諸課題について質問しましたので報告します。

瀬川貞清議員は、施政方針演述にある①閉塞感の打破 ②遠隔医療の公約実現の可能性 ③「市民に寄り添う市政」の実態について、倉成市長の見解を質しました。

市長が区別される理由はありません

特に、「市民に寄り添う市政」を標榜する倉成市長は、この間、議員団や市民団体の申し入れに出席していません。最初は「新人市長なので政策的課題について正確に答えられないので、3ヶ月間は会わない事にした」と答弁。しかし、関連質問に対する答弁で「政党と市民に会うことは意味が違う。理解してもらいたい」等、重大な発言をしました。

皆さんはどう思いますか？

議員も市長も、ともに、市民から直接選挙で選ばれた人々であり、選んだ市民が区別される理由はありません。

子ども保険が必要では

菅原明議員は、①人口減少問題と子育て世代への対応 ②DX（デジタルトランスフォーメーション）について質問。

倉成市長は、「国は介護保険とともに子ども保険が必要ではないかと考えている状況にある。日本の合計特殊出生率は現在1.3だが、奥州市は現在1.68であり、2040年には1.88までもっていききたい」と等と答えました。



また、DXについて市長は、「これは地方のための制度であり、高齢者に有益なもの。今年度は子育てや介護等に関するオンライン化を進めたい。また、これらについて、馴染みのない世代については、①利用者の利便性を図ること、②行政事務の効率化、③人にやさしいデジタル化にするため、講習会などを検討しています。」等と述べました。



DXとは…ITの浸透により生活が便利になるという人々の生活がより良くなるという変化が人々の生活に与える影響

佐藤美雪議員は、オンライン行政相談の仕組みと内容、個人情報等の保護について質問。

市長等は、「これは、現在、分かれている相談窓口を1箇所で行えるようにするもので、昨年度から長寿対策や納税相談など、実証実験の中で課題も見えて来ており、個人情報を守るために個別ブースを設けるなど、セキュリティや個人情報に配慮したやり方が必要だと考えている」等と述べました。

不登校・いじめ防止のためにメッセージを

千葉敦議員は、「不登校・いじめの防止」のためには、子どもたちに対して、温かい人間関係を築き、自己肯定感を後押しする強いメッセージがほしいのでは、と質しました。

高橋教育長は「不登校については、奥州市の教育にとって最重要課題なので改善をはかりたい。①早急に気づいて未然に防止する。②心を耕すことで、人間関係を含めて、子どもたちの居場所を拡大する。③学校が安心・安全な居場所であればだめだ。子どもたちにとって、安心・安全な学校の実

災害減収農家への支援制度創設を！



日本共産党
参議院議員
いわぶち友



6月6日

先日のひょうの被害がどうなっているか、福島市内の梨農家の方のところへうかがいました。昨年は同じ地域で霜の被害がありました。

「今年は豊作になりそうだったのに。ひょうの被害にあったのは初めてで対策のしようがなかった」と。

「2年続けて災害にあい、離農する農家がでるのではないかと心配。収入保険制度の改善と、災害で減収した農家への支援をつくってほしい」と要望をいただきました。

実態をつかみながら、地方議員団とも連携して取り組んでいきたいと思っています。

現が不登校・いじめを防止する。絆づくりで、子どもたちの望ましい人間関係をつくっていく」と述べました。

